

3/15

## 総務産業常任委員会より



## 議員からの質問

Q

A

## 町からの回答

那須白河観光推進協議会とあるが、那須町が白河市と連携するメリットは。



白河市は小峰城に代表される歴史またはゴルフでの誘客をはかっているが、宿泊施設が少ないため連携が有効。また、福島空港を利用できるような観光プランを考案し、関西からの誘客を図る。

ふるさと納税起業家支援事業補助金が、昨年予算143万円に対し、28万5000円となった理由は。



主に女性を対象とした、お一人様キャンプ事業の申請があり、クラウドファンディングの目標金額は100万円だったが、28万5000円の寄付であった。

指定金融機関取扱業務手数料がかかるようだが、金融機関を変更する考えは。



他の金融機関は、指定金融機関になる意向はないと伺っており、町内に支店がある指定金融機関から変更することは考えていない。

高齢者運転免許自主返納費で47名分を想定しているが、今まで自主返納した方に対して、アンケート調査はしているか。



1人15,000円を限度で、福祉タクシーやデマンド交通または町民バスの利用券を交付している。アンケート調査は実施していないが、「1回限りの交付で残念」という言葉は聞いている。

友愛の森整備事業費は、コロナ禍において、億を超える支出となるが、町民の理解を得られるか。生活支援、生活困窮者支援、健康増進などに予算を使うべきでは。



これまでも各種団体などと協議を行ってきた。またウィズコロナからアフターコロナへの道を模索する中、将来への投資は必要である。令和3年度に設計の実施をしないと国からの半額補助が受けられない。

自主防災組織活動支援事業補助金について、予算額では3団体分であるが、5年後の目標に対してこの団体数で達成できるのか伺う。

結成が遅れているのは事実である。更なる結成に向け、力を注がなければならない。令和3年度中に結成の準備を進めている3団体の予算計上をしている。

森を育む事業費で、国からの森林環境譲与税が2,650万円と緊急性があるので、入ると考えるが、なぜ1,600万円の予算化なのか。

どれだけの調査ができて、事業の消化ができるか森林組合と協議していく。